



福岡医発第 11 号 (地)
令和 7 年 4 月 2 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

次期（令和 8 年度）診療報酬改定に関する要望事項について

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、令和 6 年 9 月 13 日付福岡医発第 1693 号（地）並びに 11 月 7 日付福岡医発第 2191 号（地）にてご依頼いたしました「令和 6 年度診療報酬改定の評価」並びに「次期診療報酬改定に関する要望事項」につきましては、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

3 月 26 日開催の第 2 回各医師会保険担当理事者会においてご説明しましたとおり、本会では、各医師会、福岡県内専門医会及び各病院団体よりご提出いただいたご意見を踏まえ、診療報酬検討委員会等において協議検討した結果、別添のとおり「次期（令和 8 年度）診療報酬改定にかかる要望事項等」として取りまとめるとともに、九州医師会連合会及び日本医師会に提出いたしましたので、ご連絡申し上げます。

本会といたしましては、引き続き、診療報酬改定において、日頃から地域でご尽力いただいている先生方の声をより反映させるべく、「現場からの情報収集」を十分に行い医療現場の問題を取り上げ、日本医師会を通じて国へ提言して参る所存です。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただくとともに、今後も本会の医療保険事業にご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

医療保険担当理事 肥山淳一郎
会 長 島田昇二郎

次期（令和８年度）診療報酬改定にかかる要望事項

	項 目	具体的内容
1	総論 (重点項目)	・ 物価や人件費の上昇率を考慮した診療報酬全体の増加が望まれる。 ・ 医療DXを推進するにあたっては、導入に係る費用の補助の増加を要望する。 ・ 生活習慣病管理料や外来・在宅ベースアップ評価料の新設等、新たな診療報酬の仕組みの導入にあたっては、医療現場の意見を反映させるべきである。
2	初・再診料 (重点項目)	・ 初・再診料は医療機関の運営に不可欠であることから、物価や人件費の上昇率に見合った増点が必要。 ・ 煩雑な加算項目を減らし、医師の技術料として基本料診療料としての引き上げを要望する。
3	入院医療 (重点項目)	・ 急性期医療や精神病棟における入院基本料の増点を要望する。施設基準の緩和や職員配置に見合った加算、特に材料費や人件費の増加に対応した増点が必要である。 ・ 有床診療所は、外来だけでなく入院患者の病状悪化時の搬送も行っており、人手不足や人件費など医療機関の負担が大きい中で評価が低くなっている。今後の地域医療提供体制の維持のためにも、有床診療所入院基本料等の評価の見直しを要望する。
4	医学管理	・ 感染症の増加や少子化、ワクチン統合等を踏まえ、基本となる小児科外来診療料の増点を要望する。 ・ 生活習慣病管理料の算定に関して、計画書作成の煩雑さを踏まえ、現行制度の見直しにより医療現場の負担軽減を図るべきである。特に、療養計画書作成の負担軽減、対象病名の拡大、並びに点数の引き上げを要望する。
5	検査	・ 内視鏡検査や超音波検査の増点を要望する。また、生活習慣病とは関連のない検査については、包括するのではなく個別評価を求める。 ・ 適正な診療を維持するため、新たな機器や技術に応じた点数の見直しが必要である。
6	投薬	・ 処方箋料については、減点されたため増点を要望する。

7	リハビリテーション	・回復期リハビリテーションを要する状態の拡大や、点数の増点を要望する。
8	精神科専門療法	・入院外における精神科専門療法における患者の支援体制や報酬についての見直しが必要である。特に、通院・在宅精神療法については医療機関の診療体制や対象患者などによって点数に差が付くことは評価するが、既存の精神療法の評価を不当に下げたり、算定困難なほど厳格な要件を求めている項目があるため、見直すべきである。 ・また、精神科における在宅医療の評価となる精神科在宅患者支援管理料の対象期間の緩和や、不適切な精神科訪問看護が行われないような要件の見直しも併せて要望する。
9	処置	・全体的に評価が低く、特に創傷処置やカテーテル留置等の処置に伴う労力や材料費に見合った点数の設定を要望する。
10	その他	・在宅医療や訪問診療に関する点数評価の低さが問題とされている。365 日 24 時間体制で関係機関との連携を行うことによる負担や、ガソリン代の高騰等、移動に係る費用並びに材料費等の負担を踏まえ、在宅患者訪問診療料、在宅時医学総合管理料等の増点を要望する。